

火の魂カンパニーで働く皆さんいつも本当にありがとう。

皆さん 2023 年あけましておめでとうございます。

昨年の年末から発熱により欠勤する方が多く、そんな中でも滞ることなく営業ができたこと、皆さんの協力があって成り立っていると思います。

火の魂カンパニーとしては、感染対策を徹底し社長である私が先頭に立ち全従業員で支え合いながら、2023 年も働く環境を整え多くのお客様に愛される会社にしていきます。

社員の皆さん、そしてアルバイトの皆さん、本年も共に仕事ができることを心から感謝しています。 本年もどうぞよろしく願います。

さて、今月の社長からの手紙は、「人間関係を良好にする習慣」について書いてみたいと思う。 我々、火の魂カンパニーの共通の目的でもある「社員と共に幸せになる」を掲げているが、以外に幸せとは？問いかけると、まだまだ分からない人が多いように思う。

我々が目指している全社員の幸せとは、経済的にも精神的にも豊かになることであり、その目指す過程が、我々の日々の業務に細分化されて目標になっている。

経済的な幸せは、お客様の「また来たい」「紹介したい店」の割合が直結して、結果的にという数字に目に見えて現れている。 そこで精神的な幸せだが、これは抽象的な話になりやすいが、実は非常にシンプルで、自分自身の身の回りの人間関係は日頃の自分が発する「言葉」と自身の「考え方」が人間関係を作っている。

例えば、職場での人間関係にいつも苦しんでいる人は、職場で関わる人への「考え方」がネガティブであり、相手の欠点などが目に付き、発する言葉もネガティブになりがちである。 相手の良い所よりも欠点を多く見てしまう人は、気がつく「人の愚痴」を心に抱き、気がつく「後ろ向きな言葉」を発して、自分自身で作り上げている人間関係に不満を持ってしまう人が多いのである。 考えてみれば、単純明快で人の欠点を探して愚痴という「言葉」に出してばかりいる人の職場の人間関係が良好になるわけがない。

私も若い頃は、そうだったが人間関係に苦しむときは、基本的に自分自身に問題があると考えしか解決方法がない、なぜなら他人は変えられないし、自分自身が人に対する考え方を変えるしかない。 私の場合は 30 歳を過ぎてから、人間関係が見違えるほど良好に変わった、なぜなら私自身が人の悪いところが見えたら「自分にも悪いところや欠点がある」、そんな風に相手の欠点をフォローしたり、できる限り「前向きな言葉」を使って関わるようにしている。 私は身近な人と職場の人間関係が良好である事が火の魂カンパニーの共通の目的の精神的な幸せに直結していると定義している。

その「人間関係を良好にする習慣」とは、身近な人の良いところを探し、前向きな言葉を使い関わること、特に部下を持つ人であれば、「ありがとう」という言葉を、自身のチームで「意識的に、意図的に」感謝の言葉を口にすることが最も効果的だ。

「ありがとう」を忘れ「当たり前」と思い口にする事が「愚痴」の始まりなのだから。